

研究課題「高悪性度 B 細胞リンパ腫の臨床病理学的検討」への協力に関する情報公開

当院は表題の研究に協力します。該当する患者さんのカルテ情報や試料から、検査結果や診療記録を抜粋あるいは未染標本を作製し、「匿名化」のうえ研究機関に情報提供をしますので、ご承知おきください。

【研究課題名】

高悪性度 B 細胞リンパ腫の臨床病理学的検討

【研究機関名】

愛知医科大学病院

【研究機関の長】

病院長 羽生田正行

【担当科等】

病理診断科、血液内科

【研究責任者】

教授 都築豊徳

【試料・情報を利用する学外の研究機関名】

名古屋大学医学部附属病院 愛知県がんセンターを含む多施設

【研究の意義・目的】

高悪性度 B 細胞リンパ腫の新たな予後因子の探索及び予後予測モデルの構築を行い、更なる治療成績の向上を目指した研究及び診療の基盤を確立することを目的としています。これによって今後の診断、治療戦略を構築する上で重要な情報がえられることが期待されます。

【対象となる患者さん】

2002 年以降に高悪性度 B 細胞リンパ腫と診断された患者さん

【研究の方法】

多施設共同の後方視的研究であり、後方視的な調査研究として行います。選択基準を満たした方を対象に、その診断時における臨床的所見、血液検査所見について調査票を用いてデータを収集し解析を行います。また、診断時に使用した生検検体もしくは切除標本を用い、免疫組織化学的な評価、FISH や PCR 法による染色体転座の有無や IgH 遺伝子再構成の検索、形態像などの病理組織学的所見を再評価致します。治療を行ったものに関しては、治療方法とその反応性を調査します。予後については、生死、再発・増悪の有無について調査を行います。

これらのデータをもとに、生物統計学的方法によって生存期間、無増悪生存期間、治療毎の奏効割合、生存期間や無増悪生存期間、奏効割合に影響する予後影響因子について解析します。

希望があれば、研究計画の内容を見ることができます。下記問い合わせ先に御連絡頂ければ対応致します。

【研究期間】

倫理審査承認日～2022年3月31日

【研究に用いる試料・情報】

試料：ホルマリン固定ブロック

情報：血液検査結果、放射線画像検査結果等

【試料・情報の利用又は提供を希望しない場合】

本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせまで申し出て下さい。ただし、試料・情報が個人を識別できる場合のみ対応可能です。

【問い合わせ先】

愛知医科大学病院 病理診断科 担当者：教授 都築豊徳

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1

電話 0561-62-3311（内線 6302）

当院における担当者：公立陶生病院 病理診断科 北村淳子

〒489-8642 愛知県瀬戸市西追分町160番地

電話：0561(82)5101（代表）